

■ 組織風土とは

- 組織風土とは目に見えず、職場メンバーの意欲と行動に大きく影響を与える「目に見えない経営資源」であり、「技術者の生産性発揮の源」と言えます。
- 技術部門やスタッフ部門などをはじめとする知的労働部門は、この組織風土により、知的生産性が大きく左右されると言っても過言ではありません。

■ 組織風土診断(KI診断)とは

本診断では、「組織風土を体系的・定量的に測定し、そこから組織の課題を発掘・設定したい」、「組織リーダーとメンバーの認識ギャップを把握したい」といった切実な声にお応えすることができます。

■ 組織風土診断(KI診断)の3つの特徴



1

日本語、英語の他にタイ語、ベトナム語、インドネシア語、での診断実施が可能です。

日本拠点はもちろん、 ASEANを中心とした海外拠点の風土実態を測定できます。

2

東京工業大・黒沢一清名誉教授の提唱する「S-Fスキーム」をもとに、1人ひとりのメンバーの意欲から、人間関係、マネジメント機能、そして達成感までを評価し、組織の問題を可視化します。

長年の研究と実績から培われたJMACの組織風土診断だからこそ、お客様からの厚い信頼を獲得しています。

3

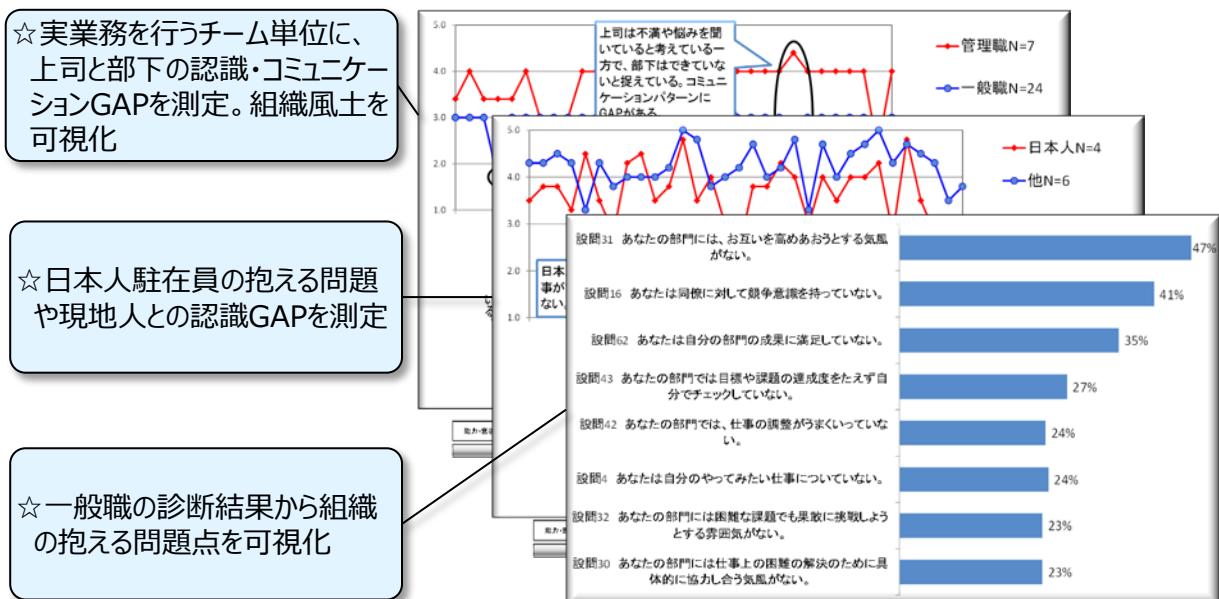
KI診断は、現状の風土活性化状態を測定することのみが目的ではありません。

組織状態を定量的に測り、その後の改善活動までをフルサポートできるのがJMACの価値です。

■こんな困りごとはありませんか？

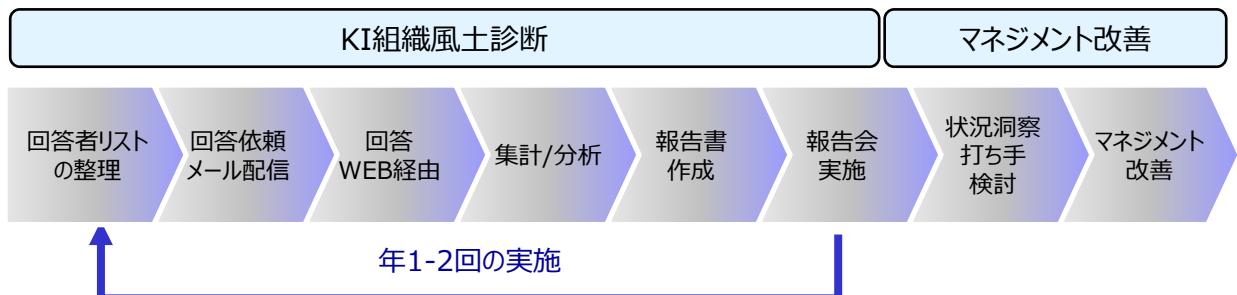
- ・本社から海外拠点の実態が掴めない
- ・日本人駐在員と現地人でのコミュニケーションが上手くいかない
- ・日本人駐在員と現地人の能力・意識に乖離がある
- ・海外拠点で日本のマネジメントを適用しているが上手くいかない

本診断では上記、海外拠点を展開する日本企業ならではの「風土問題」の可視化をし、改善への打ち手を明確にします。



■組織風土診断(KI診断)の実施フロー

組織風土診断(KI診断)は、以下のプロセスで進めます。



- 施策影響度の確認やマネジメント不具合の未然察知の意味から、年1回の定点観測をお勧めします
- Webによる回答の必要時間は、15-20分程度
- 部・室・課・チーム単位で集計し、集計後、報告会を実施します
- 各部門での診断状況に基づき、体制やマネジメント改善への打ち手を行っていただきます